

／ 子育てするなら山都町 ／

出産祝い金で最大20万円を支給！

【支給金額】

出生児第1子に3万円・第2子に5万円
第3子に10万円・第4子に20万円

【給付の特例もあります】

出産の日以後引き続き本町に住所を有し、要件を満たされた場合
「誕生祝い金」として一律3万円の支給が受けられます。

子育てのお手伝いは任せて！

「子育て支援センター」

心のよりどころとなれるよう取り組んでいます。※利用無料

「病後児保育室」

病気の回復期の子どもたちをお預かりします。

子どもの成長 見守ります！

町独自で、7ヶ月健診、1才児健診、2歳児歯科検診、
4歳児歯科(発達相談)健診、
小児生活習慣予防健診(小学5,6年生)を行い、
安心して子どもを育てられる環境を整えます。

高校生までの子どもの医療費が実質無料！

入院、通院、歯科、調剤にかかる医療費(保険診療分)を助成
山都町内に住所を有する満18歳に到達後の3月31日まで。

保育所・認定こども園の待機児童がゼロ！

他町村より保育料が安い

希望するところに入園できます。途中入所も受け付けております。
その際、利用される最初の月の保育料は日割り計算OKです。

山都町独自で予防接種の費用を助成！

おたふく風邪ワクチンの費用を助成します(1歳以降2回分)

インフルエンザワクチンを1回1,000円で接種できます。
6か月児から13歳未満は2回、13歳から18歳までは1回助成します。
※町内の病院に限ります。

妊婦歯科検診が無料！

妊娠期の虫歯も赤ちゃんに影響します。
28週までに1回の助成が受けられます。

当協議会と移住の窓口「山の都移住すまいるセンター」が連携して
移住から就農までのサポートをおこないます

山の都 移住すまいるセンター

移住のサポート

山都町短期滞在施設(最長1年)、または、空き家バンクの物件や不動産業者の紹介をします。また、集落の方への紹介や施設と制度の説明など、山都町へスムーズに移住できるようなサポートをしています。

〒861-3543 熊本県
上益城郡山都町上寺1601-4

TEL・FAX 0967-72-9111
yamato.smile@machi-y.jp

<https://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/shigoto/>



山都地域担い手育成総合支援協議会

研修までのサポート

申込みから研修開始までの手続きや、
受入農家さんとのマッチングなどにつ
いて、研修開始がスムーズにいくような
サポートをしています。

研修中のサポート

集合研修の開催や研修状況の確認
などを行い、充実した研修内容になる
ように様々なサポートをしています。問
題が起きた場合など、相談役としての役
割も担っています。

新規就農、雇用就農へ向けてのサポート

独立自営を目指す方には営農しやすい住居の紹介や農地の紹介など、雇用就農を目指す方には農業法人への紹介などのサポートをしています。

九州のへそ「有機農業 全国 No.1 のまち」

山都町で 農業者になる!!

Organic town Yamato

#有機農業 #環境保全型農業 #高冷地栽培 #中山間地域農業 #移住支援



熊本県上益城郡 山都町って、どんなところ?!



✈️ + 🚗
約2時間30分
✈️ + 🚗
約3時間



北は阿蘇南外輪山 南は九州脊梁山地

熊本県山都町は、九州の真ん中「九州のへそ」に位置しています。世界最大級の阿蘇カルデラを形成する南外輪山のほぼ全域をおさめ、南側は九州脊梁山地に接しています。一級河川である五ヶ瀬川、緑川は町内の山間部にある水源を源流とし、分水嶺を境にそれぞれ東西に流れています。標高300m~900mの準高冷地で、冷涼な気候と寒暖差、そして山々からの清らかな水と、阿蘇山の火山灰を含んだミネラル豊富な土壌など、おいしい野菜を育てる条件が揃っています。



最寄りの空港

阿蘇くまもと空港から約35 km

🚗 車で約50分

最寄りのインターチェンジ

山都通潤橋ICから約1.5km

🚗 車で約3分

松橋ICから約36 km

🚗 車で約50分

※ 距離・時間は山都町役場本庁付近まで

有機農業全国 No.1 のまち
夏秋野菜の産地

全国の中でも有機農業に早くから取り組んでいた地域で、有機農家をはじめ、有機農業を推進する団体や出荷団体が数多くあります。また有機農業だけでなく、慣行農業による高冷地栽培も盛んで、トマト、キャベツ、ピーマンなどの夏秋野菜の産地でもあります。



山都町のシンボル
国宝 通潤橋



江戸時代の1854年に建設された「通潤橋」は人気の観光地として知られています。長さ約78m、高さ約21.3mを誇る日本最大級の石造りアーチ水路橋です。時の惣庄屋「布田保之助」が水の便が悪く水不足に苦しんでいた白糸台地の民衆を救うために建設しました。通潤用水と呼ばれる水路の一部であり、北側の取入口から橋の上に設置されている凝灰岩製の通水管を通して、白糸台地のある南側へ水が吹き上がる仕組みになっています。通潤橋を渡った水は、建設から約170年を経た現在も、白糸台地の約100haの水田を潤しています。

国選定重要文化的景観
通潤用水と白糸台地の棚田景観

国宝「通潤橋」の南、南北約5キロ、東西約3キロに広がる白糸台地にあります。通潤用水が建設されて以来、継続的な利用と管理により形成された特異な生態系、伝統的な水管理など、風景とともに特色のある営みが現在も続いています。2010年2月22日に「通潤用水と白糸台地の棚田景観」が国から重要文化的景観に選定され、2014年9月16日に「通潤橋」を含む「通潤用水」が「世界かんがい施設遺産」に登録されました。



山都町で 農業研修!!

って、どんな感じ?!

5期生 荒木 優里さん

山都町出身・1994年生まれ

実家が農家なので、それが農業者を目指そうと思った直接のきっかけです。ただ、環境問題や食の安心安全にも関心があり、やるなら有機農業と決めていました。以前勤務していた会社で BLOF 理論(※)について知る機会があり、自分が目指したいと思っている農業のイメージとぴったり重なりました。地元山都町で実際にその技術を実践し、ご活躍されている受入農家さんがいらっしゃることを知り、研修を受けてみようと思いました。

農業研修では、どんなことを学んでいますか?

受入農家さんのところでは、座学や機械操作も含め、一から栽培方法を学んでいます。研修中に販売先への紹介もいただき、就農後のイメージを持ちながら研修を受けることができます。また、農業を通じたイベント活動にも一緒にさせていただき、貴重な経験ができました。集合研修では座学だけでなく、農家さんや農業関係者の方のお話もお聞きすることができたり、県全体の研修に参加したりと、内容の充実した研修制度だなと感じています。

農業研修を受けた感想を教えてください!

研修では、野菜を作るだけでなく、言葉で自分の想いをしっかりと届けることの大切さも学びました。栽培の基本を忘れずに作物と向き合い、研修で得た知識・技術・人とのつながりを活かして、自分のやりたい農業をしていきたいです。

5期生・荒木さんの TIME SCHEDULE

5:30	起床
	朝食・子どもの送迎
8:00	農業研修
12:00	昼食
13:00	自習
14:00	農業研修
17:30	子どもの送迎
18:00	帰宅
22:30	就寝



受入農家 鳥越 靖基さん

YASKI FARM 代表

神奈川県出身・1978年生まれ

[栽培品目] ピーマン・人参・玉ねぎ

BLOF 理論(※)を基に持続可能な農業を目指して有機農業に取り組んでいます。YASKI FARM という名前でミュージシャンとしても活動しています。

農業研修は、主に どんな内容ですか?

BLOF 理論を基礎に、論理的に物理性、生物性、化学性を理解してもらい有機栽培技術としておとしこみ、実際に再現してもらっています。機械操作等は、安全第一の作業を確認しながら行っています。

農業研修生へ 一言お願いします!

まずは、しっかりと安定した経営を達成し、そして有機農業の魅力を多くの人に伝えてもらいたいです。チャレンジしたい方へのアドバイスなど、経験したことを伝えてほしいです。独立後は情報交換し合い、一緒にイベントを開催したり、つながり合いながら共に成長できたらと思います。

※BLOF(Bio Logical Farming)理論とは生態系調和型農業理論/①アミノ酸供給 ②ミネラル供給 ③土壌形成の3つの分野に分けて考察し、科学的・理論的に営農していく栽培方法

山都町で農業しよう!

山都町は有機 JAS 認証事業者数が日本一多い町です。私は BLOF 理論を基にした農法を行っていますが、他の農法の農家さんも多様にいらっしゃいます。まずは自分にあいそうな農家さんを紹介してもらって話をしてみてください。ここは自然が豊かなだけでなく、面倒見の良い人も多くいます。有機農業をするには、すごくいい環境だと思います。



山都町はこんな町

山都町は自然が豊かなところです。準高冷地なので、夏は涼しく過ごしやすいです。高速道路が開通して交通の便も良くなり、田舎だけど生活がしやすいと感じています。子どもが通っている保育園では、農業体験や食育に積極的に取り組まれています。小中学校では、給食のオーガニック化も進んでいて、「有機農業全国 No.1 のまち」ならではの魅力だと感じています。

山都町のオススメポイント

農業が盛んな山都町には、高い技術を持った先輩農業者が多数おられます。また、有機農産物の卸先が町内に複数あり、就農一年目でも売り先に困りません。個人的には、近くの川でヤマメが釣れることも魅力のひとつです(笑)

4期生 谷藤 晃宏さん

佐賀県出身・1981年生まれ

[栽培品目] ピーマン、人参、栗

以前、長野県で農業のアルバイトをしたことがあり、その時に感じた楽しさや充足感が、農業者を目指すきっかけになりました。その後、会社員などを経て高知県で農業法人の従業員としても勤務し、改めて農業者になろうと決めました。



農業研修の経験は、 どう活かされていますか?

農業研修では、農業の技術や知識についてはもちろん、有機 JAS 認証の取得についてや融資、農地探し、作物の病害虫診断など、先輩農家だけでなく各分野の多様な方とお知り合いになる機会を頂きました。研修中に知り合った方々との繋がりがあったおかげで、スムーズに就農することが出来たと



実感しています。また、農作業だけでなく販売やイベントにも関わる機会があり、自分が育てた作物を販売することに対する学びも得られました。とても楽しく研修期間を過ごすことが出来ました。つい先日、ピーマンに病気が発生し、研修中に知り合った方々に相談したところ、いち早く特定して対策を打つことが出来ました。本当にありがとうございます。

山都町は有機農業 全国 No.1 のまち

山都町の有機農業の歴史は 1970 年代から始まります。今や有機 JAS 認証事業者数は全国で一番多く、年間を通してたくさんの種類の野菜やお米を育てています。2021 年には小中学校の給食で有機米の提供が始まるなど、ここ山都町では、有機農業は特別ではなく当たり前の農業として親しまれています。全国から有機農業を志す移住者が年々増えており、先代からの想いと技術は、人々の健康と山都町の土壌を守りながら、次世代の担い手たちへと受け継がれています。

What is 有機農業？

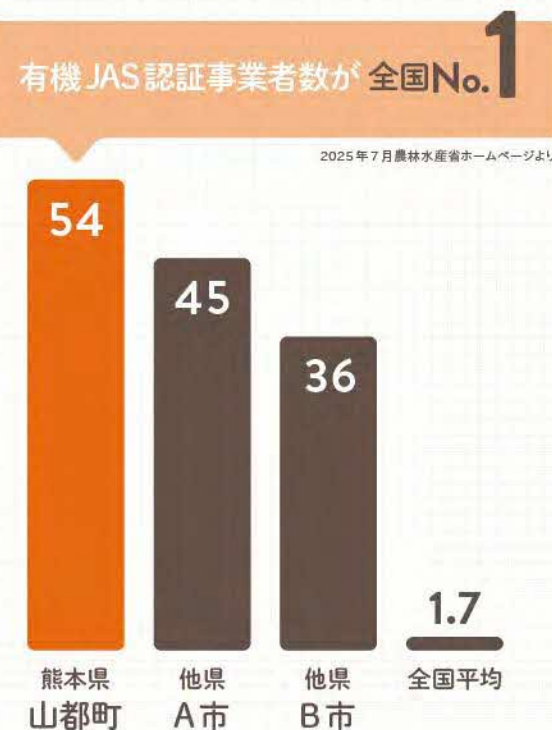
有機(オーガニック)農業とは、化学肥料・化学合成農薬に頼らず、土が本来持つ力を活かし、そこで生きる生き物と共生しつつ、自然との調和を大切にしながら行う環境にやさしい農法のことです。

What is 有機 JAS？

2~3 年以上にわたる化学肥料と化学農薬の不使用、畑の条件や栽培記録などの厳しい審査を経て、第三者機関が証明する「有機 JAS」を取得できます。そして、その畑で作られた野菜に「有機 JAS」を表示することができます。人にも環境にもやさしい農法で作った山都町の有機(オーガニック)野菜は、皮も葉もまるごとおいしく食べることができます。



この緑のマークが
有機 JAS の認証を
取得した印



山都町には 有機農業協議会 があります

2003 年、有機農業者や有機グループ、また農薬不使用、減農薬など環境保全型の農業者が一体となり有機農業推進の実現のために生産者間の交流をはかりながら、有機農業経営の確立を目指し更には有機農法の普及、食に携わる人や消費者の人たちとの距離を近づけていくことを目的に「山都町有機農業協議会」が設立されました。

活動内容

1. 有機農業経営確立の為の研修会や情報交換
2. 地産地消として学校給食へ安全な農産物の供給
3. 新規就農者への体験、技術指導
4. 食農教育ボランティアの参加、協力
5. こども野菜塾の開催



山都町有機農業協議会ホームページ
<https://yamato-yuki.jimdofree.com/>



「有機農業」に関する補助事業の紹介

有機 JAS 認証事業	有機 JAS の認証に係る経費を補助	【新規認証】補助対象経費 10 分の 10 【継続認証】補助対象経費 10 分の 8
有機 JAS 面積事業	有機 JAS 認証拡大面積に応じて補助	認証拡大面積に応じ 12,000 円/10a
有機農産物流通機械施設整備事業	事業費が 20 万円以上の有機農産物の貯蔵、流通に係る機械導入、施設整備を補助	補助対象経費の 2 分の 1 限度額 1,000,000 円
アイガモ農法支援事業	アイガモ農法による水稻栽培にかかる経費の補助	補助対象経費の 2 分の 1

詳しくは、山都町役場 農林振興課 有機農業推進室 TEL 0967-72-1136 までお問い合わせください。

山都町は「くまもとグリーン農業推進宣言」を 県内で一番最初に宣言しました。

「くまもとグリーン農業推進宣言」は、熊本の宝である「地下水」と「土」を農業によって守り育てていくため、土づくりを基本に化学肥料や化学合成農薬の使用を減らした、環境にやさしい農業を推進して行くことの宣言です。山都町は県内の自治体で初めて宣言を行った町です。さらなる推進のため、生産宣言と応援宣言数を 2020 年までに 2020 件にする目標を掲げそれを達成し、2021 年には「くまもとグリーン農業表彰」を受賞しました。



生産宣言

生産者が、きれいで豊かな地海水や自然環境に配慮した「くまもとグリーン農業」に積極的に取り組むことを示すマーク



応援宣言

消費者や企業・レストランなどがくまもとグリーン農業を応援していることを示すマーク



YouTube 【公式】山都町山の都創造チャンネル
【新規就農 PR 動画】
GIFT 山の都のたからもの

山都町の魅力や有機農業の特徴がたっぷりと詰まった新規就農 PR 動画です。

山都町では、農業研修から就農まで充実したサポートを行っています。山都町内の先進農家や、県・JA などの専門機関と連携し実践的な技術を学ぶことができます。山都町へ U ターンで就農した農家、県外から新規就農した農家、それをサポートする人にそれぞれインタビューしています。



＼ We support / 私たちが受入農家です

有機
Organic

マークは、有機農家です

佐藤 友治

大玉トマト、水稻、しいたけ

中山間地の利点を最大限に活かした大玉トマト、水稻、椎茸栽培を行っています。規模拡大をするにあたり人材不足を補う為、積極的に外国人技能実習生の雇用を行いながら、産地の維持、安定した農業に繋がっています。ともに山都町を盛り上げられる農家になりたい方は是非体験からでもお越しください。



二宮 昌隆

ミニトマト、水稻、しいたけ

蘇陽地域で夏秋野菜を中心に栽培しています。涼しい地域で作業し易い環境です。



工藤 真也

キャベツ、大根、水稻、しいたけ

季節に応じて、平坦地と高冷地で露地野菜を栽培しています。雇用も検討していますので、やる気のある方待っています。



矢仁田農園

ミニトマト、中玉トマト、花苗、水稻(減農薬栽培)

私の農園では、農業をしたい人、将来この地で農業をする人、又は、我が農園を引き継いでくれる人を育てたいと考えています。将来、有機農業を目指す人も取り組みやすいように、減農薬、減化学肥料のカラフルトマトの他、イタリアン野菜を含む、色々な野菜の栽培管理から出荷までの技術指導をします。



なかはた農園

いちご、水稻

農業を生業としたい方、山都町を盛り上げたいと思う方、一生懸命な方と一緒に勉強していきたいです。適性があり、本人の希望があれば、なかはた農園の従業員としての雇用も検討していきたいです。



下竹 淳文

大玉トマト、さといも、水稻

トマトの養液栽培と土耕栽培を行っており、3つの作型で生産しています。トマト+里芋の作付体制で、一年を通して収入があるようにしています。



有機
Organic

坂本 邦雄

有機水稻、有機野菜(れんこん、にんじん、玉ねぎなど)

私は母と2人で有機農業をしています。息子もおり共同で作業することもあります。息子は別経営で自分の畑を持っています。研修では自分が基本的な事を教え、独立後は自分で考え、自分の有機農業をしてほしいと思っています。私が長年営んできた作目(水稻、れんこんなど)や話し合いによって農地を引き継いでほしいと思っています。研修中は自宅とは別棟に住居がありそこに住みながら有機農業と農村での生活を学んでいただけたらと思っています。有機農業を本気でやりたい人に来ていただきたいです。



有機
Organic

八田 祥吾

有機水稻(有機合鴨農法米)、ミニパプリカ(施設栽培・減農薬栽培)

矢部地区で水稻・ミニパプリカを生産しています。水稻は30年以上有機栽培で作っています。ミニパプリカはBLOF理論による土作り力を入れており、減農薬で生産できています。また、地域おこし会社「山都でしか」も経営していますので農業だけではなく、地域の活性化に興味ある方にもおすすめです。



有機
Organic

田上 貴士

有機水稻、有機野菜(レタス、チンゲン菜、にんじん、さといもなど)

チンゲン菜、レタス、サニーレタス、グリーンリーフ、玉ねぎ、ニンジン、ブロッコリー、里芋、アイガモ水稻等約9品目を栽培しています。研修後、従業員としての採用も検討します。



有機
Organic

大隈 徹

有機水稻(掛干)、有機野菜(みょうが、玉ねぎ、さといもなど)

農業及び化学肥料を一切使用せずに、水稻及び多品目の野菜を栽培しています。一部の圃場については、有機JASの認証を受けています。1999年に脱サラして就農しました。仲間を増やしたいという思いで、受入れをしています。



有機
Organic

グリーンファーム矢部

有機野菜(にんじん、ジャガイモ、玉ねぎ、ニンニク、菊芋、架け干し米)

永年のオーガニック圃場を引き継ぎ、私が38歳の時(2008年)に就農しました。「夢と魅力のある経営体」を目指し経営目標を達成しつつあります。「食べ物とは心と体の原材料」ですから、安全性確保、作物のチカラを最大化、美味しく栄養価を高めることが私たちの役割です。研修では基本に始まり、自然の理論に基づく栽培技術(BLOF理論)、SDGs、改善活動、鮮度保持、流通と営業、農業経営全体まで、一連の必要なスキルを学ぶことが出来ます。まずは、あなたの目指す未来の話を聴かせて下さい。そして、夢のカたちを実現させてみませんか?



有機
Organic

中村 司郎

有機野菜(さといも、にんじん、つくね芋、かぶなど)、水稻

20種類以上の有機野菜を栽培しています。生産から販売までの確立をサポートします。



有機
Organic

YASKI FARM

有機水稻、有機野菜(ピーマン、にんじん、玉ねぎ、など)

楽しく思い描く農業経営ができ、美味しい栄養価が高い有機野菜を育てられるように、研修中はBLOF理論を基礎に、論理的に物理性、科学性、生物性を学び有機栽培技術としておとしこみ、畑で再現していきます。持続可能な有機農業を目指して、様々な視点からも学びながら研修生の未来の形を築いていくお手伝いが出来たらと思います。



有機
Organic

上田 裕之

有機野菜(玉ねぎ、さといも、にんじん、リーフレタス)

当協議会の1期生として研修を受け、2019年に就農しました。天や自然との調和を一番に心がけ、美しい農産物や圃場、周辺環境の創造をテーマに農業と向き合っています。研修生のゴールを達成するために私自身も共に成長していきます。





国、県、町の制度が利用できます

※各制度には対象となる要件があります

【国の支援について】

新規就農者育成総合対策	目 的		内 容		対 象 者	
	就農準備資金	就農前の研修期間の生活安定を支援	150万円/年 (最長2年間)	・県認定機関での研修者 ・就農予定時に49歳以下の者		
	経営開始資金	就農直後の経営確立を支援	最大150万円/年 (最長3年間)	・認定新規就農者 ・就農時に49歳以下の者		
	経営発展支援事業	機械・施設等の初期投資の3/4を支援	補助対象事業費 上限1000万円 (開始資金併用時上限500万円)	・認定新規就農者 ・就農時に49歳以下の者		
	青年等就農資金	農業経営を開始するために必要な資金を支援	3,700万円 (融資限度額) (長期、無利子で貸付)	・認定新規就農者 ・原則18～45歳未満 (特例45～65歳未満)		

【熊本県の支援について】

	目 的	内 容	対 象 者
中高年就農研修 支援事業	就農前の研修期間の 生活安定を支援	最大120万円/年 (最長1年間)	・県認定機関での研修者 ・就農予定時に50～59歳の者
中高年就農初期投資 支援事業	機械・施設等の 初期投資の1/2を支援	補助対象事業費 上限500万円	・認定新規就農者 ・就農時に50～59歳の者

【山都町の支援について】

※新規就農者育成総合対策(経営開始資金)との併用はできません

	目 的	内 容	対 象 者
山都町農業後継者 就農交付金	農業後継者育成確保のために 就農への踏み切り及び 定着への支援	50万円(単身) 70万円(夫婦、兄弟)	認定新規就農者 又は 認定農業者で青色申告の経営体



移住、研修制度から就農までの流れ



まずはご相談！

山都地域担い手育成総合支援協議会へ(0967-72-1136)

農業相談担当者と面談をして、ご自身のビジョンをお聞きたり、研修制度について詳しくお話しします。

研修申込み

申込みの条件 ※研修を開始する2か月前までに申し込み書を提出すること
年齢:59歳未満 / 山都町で新規就農または雇用就農または親元就農すること

事前に農家さんに会いに行く / 体験研修中の宿舎を探す

体験研修

2つ以上の受入農家で5日間ずつ体験研修を受けていただきます。

受入農家と顔合わせ / 体験研修レポート作成

受入農家を決める

体験研修を受けた上で、1～2年間お世話になる受入農家を決めていただきます。

研修中の住居探し / 移住手続き、引っ越し

面接

希望する受入農家、協議会、町農業委員会、協議会事務局など研修中や営農を開始してからお世話になる方への紹介も兼ねて、面接を行います。

関係機関への紹介

研修スタート

4月開始、9月開始の年2回 / 研修費:月1万円
【実践研修日】週5日(受入農家により異なる)
【集合研修】月に2回(研修日数に含まれる)
研修期間中は、国の補助(49歳以下)または県の補助(50代)を受けることができます。

就農の準備

研修期間中は、就農するための様々な手続きを行います。

- ▶ 就農後の住居、農地、機械探し
- ▶ 認定新規就農者の認定を受けるための就農計画の作成・審査会
- ▶ 国や県の補助金を受けるための手続き
- ▶ 融資を受けるための手続き

農業開始

研修修了後1年以内に独立自営または雇用就農または親元就農
国の補助(49歳以下)または県の補助(50代)を受けながら、経営の確立・発展を目指します。
※就農後5年以内に認定農業者または認定新規就農者の認定を受けること

